

事務事業名	一般管理事務事業			事業コード	02010100201		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）		電話	68-0801		記入者名	中嶋 静子
事業対象	市民を対象としています。						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市		実施手段	市が直接実施		委託内容	
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	一般事務に必要な経費、施設の維持管理、修繕を実施しています。						
	<p>里竹田処分場維持管理 賃金 管理人賃金 320千円 需用費 燃料費 24千円 使用料及び賃借料 重機借上料 227千円 原材料費 砂利 25千円 公有財産購入費 用地取得費 1,688千円</p> <p>一般事務 旅費 6千円 需用費 1,434千円 役務費 10千円</p>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	丸岡支所管内全般にわたり、市民の方々からの意見を聞き、小規模な修繕などは速やかに対応します。極力、経費節減と事務の合理化を目指します。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	23年度は、舟寄地区のバス休憩所の修繕を実施しました。また集落のサイン修繕については、既決の予算の範囲で行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	これから予定される修繕について、内容を検討し、実施年度を事前に周知します。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	本庁監理課と予算計上の際に、資料を提出しています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	1,299 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	10 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	1,822 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	3,131 千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	人件費		正職員	0.66 人	4,485 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	1.00 人	2,293 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.66 人	6,778 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		9,909 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源				9,909 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
財源合計		9,909 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現在は、合併後の旧町において総合支所を設けているため、旧町内の細かいサービスを実施するためにも、継続していくほうが望ましいです。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	公共的な施設などの管理であるので、このまま、現状を維持していきます。					
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。			目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	ただ、里竹田処分場については数年で満杯となるため、閉鎖を検討します。この後の跡地利用については、この市有地の周囲に原野があるので、それと一体的に整備できないか検討の余地があります。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	総合支所管内の細かいサービスを実施するためにも、現状を維持していきます。					
すぐに行える改善提案	市民の方々からの意見を聞きながら、小規模な修繕などは速やかに対応します。					
目標年度 平成24 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	里竹田処分場跡地利用の環境により整備の検討をします。					
目標年度 平成30 年度						

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	里竹田処分場利用回数	目標値	172	達成率		達成率
		実績値	175	101.74		
成果	施設等修繕	目標値	5	達成率		達成率
		実績値	4	80		
活動	各区の清掃時の泥などの持込の巡視、整地	目標値	172	達成率		達成率
		実績値	175	101.74		
活動	舟寄地区バス休憩所修繕ほか	目標値	1	達成率		達成率
		実績値	1	100		
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	地域振興事務事業			事業コード	02010101101
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	中嶋 静子
事業対象	市民、観光客を対象としています。				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	地域自治区の設置に関する協議書、坂井市寄付による市民参画条例			
関連計画	無				

【事業の概要】

地域自治区の区域に係ることや、丸岡支所が掌握する事務について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働のまちづくりを推進することを目的とします。

- 地域振興事務事業
地域自治区の区域内に係ること、丸岡支所が掌握する事務について協働のまちづくりを推進するため実施します。

報償費	地域協議会視察謝礼	3千円
旅費	地域協議会委員費用弁償	120千円
	まつり延岡参加旅費	91千円
需用費	地域協議会事務費・会議経費	107千円
使用料及び賃借料	地域協議会バス借上料	180千円
負担金、補助及び交付金		
	山車振興事業補助金	600千円
	からくり人形修繕事業補助金	500千円
	丸岡古城まつり事業補助金	6,000千円
	丸岡自治区スポーツレクリエーション祭補助金	1,200千円

- 寄附市民参画基金事業
市民からの寄付金を用いた丸岡自治区独自のまちづくりに寄与するための事業として、「丸岡古城まつり」グレードアップのための甲冑、小道具等の購入を行う。

甲冑×2、甲冑飾り用ケース×2、陣幕×2、子ども法被×200

【事業のコスト】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	77千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	11,020千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	11,097千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	1.32人	8,969千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.32人	8,969千円	人	千円	人	千円	人	千円
			総事業費	20,066千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			20,066千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		財源合計	20,066千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度				
成果	古城まつり参加および人数	目標値	1000	達成率	1000	達成率	1000	達成率	1000	達成率
		実績値	1700	170	1600	160	1600	160	1600	---
成果	地域協議会市長への提言書提出回数	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
		実績値	0	0	1	100	0	0	1	---
活動	古城まつり協賛金の全体事業費に対する割合	目標値	38	達成率	38	達成率	35	達成率	30	達成率
		実績値	44	115.79	39	102.63	39	111.43	44	---
活動	地域協議会会議回数	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
		実績値	12	100	8	66.67	10	83.33	11	---
活動	丸岡自治区スポーツレクリエーションの参加人数	目標値	1000	達成率	1000	達成率	1000	達成率	1000	達成率
		実績値		---		---		---		---
活動	丸岡自治区の活性化に寄与する経費	目標値	3200	達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値	2567	80.22						

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐに行える改善提案	地域自治区及び地域協議会に期待する役割、付与する権限・責任など意義と指針を整理し、委員、担当所管の意思統一を図ります。ま、市長と意思の疎通を図るための懇談の機会等を設定します。また、地域の施策について実情・対策を委員で審議し、市へ提言書を提出します。	
目標年度 平成23 年度		
取組状況	市へ提言書を提出しました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	古城まつりに民間活力を取り入れ、市民参加の行事にしていきたいです。また、丸岡城を中心とした観光ボランティア育成等、丸岡を全国に発信するための市民参画について、広く周知・啓発していきます。	
目標年度 平成28 年度		
取組状況	古城まつりの各部会の会議に市民の方々に出席してもらい、また参加者については広報、ホームページの情報を発信しました。	

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	住民と行政の協働のまちづくりを推進するため、よい方向性を探りながら、実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	特に、古城まつりなど市民とのかわりのある事業があるので、市主導を少なくしながら、民間活力主導で実施する方向を検討していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	コスト削減に努力しながら、その分を事業経費に向けていきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状のまま継続していきます。			
すぐに行える改善提案	行政が推し進めるのではなく、市民協働による実行委員会を立ち上げます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	古城まつりは、40数年の伝統があり、さらに末永く続く祭りとしていくため、まつり実行委員会を充実させ、伝統を創っていきます。			
目標年度 平成28 年度				

事務事業名	協働のまちづくり事業			事業コード	02010101501		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）		電話	68-0801		記入者名	中嶋 静子
事業対象	市民を対象としています。						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無 坂井市総務部まちづくり推進課所管補助金等交付要綱						
関連計画	無						
事業の目的・事業の概要等	各区との円滑な運営と連絡調整を図り、市民一人ひとりが誇りをもって暮らせるよう、公民館単位で設立された7つのまちづくり協議会の活動を支援し、市民と行政の協働のまちづくりを推進します。						
	補助金として、丸岡自治区の7つのまちづくり協議会に一般事業と特別事業にわけて、交付金を交付します。 補助金 協働のまちづくり事業交付金 一般 5,400千円 特別 7,000千円						

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	まちづくり協議会への支援等については、支援策の見直しや施策の検討を行い、市の関係課等と連携を強化し取組んでいきます。また、まちづくり協議会連絡会等を開催し、協働事業の役割の再確認や情報交換を行い、運営の円滑化を図ります。		
目標年度 平成23 年度			
取組状況	平成23年度で丸岡自治区でまちづくり協議会連絡会を発足しました。（平成23年8月31日） これからは、年2回程度の定期的な会議をし、連帯的な活動の実施を目指します。		
中長期的に取り組むべき改善提案	各まちづくり協議会の活動拠点の公民館を、まちづくり協議会に移譲し、双方の活動の効率・利便を高めています。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	行政経営課、まちづくり推進課、教育委員会が実施した説明会に参加し、各まちづくり協議会の意見を聞き、これからの対応について努めました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	10,400 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	10,400 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.54 人	3,669 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.54 人	3,669 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	14,069 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		3,528 千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		10,541 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	14,069 千円	千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	7つのまちづくり協議会は、設立以来、地域の特性を生かしながら、それぞれの事業に取組みながら活動しているので、行政としても更なる支援をしていきます。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	公民館施設を拠点として、当分の間、事業を実施していきます。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断事由						
すぐに行える改善提案	まちづくり協議会連絡会を利用しながら、横のつながりを密にしていきます。					
目標年度 平成25 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	まちづくり協議会が自主運営に対応可能な状態になるまで、市として運営を充実するよう支援していきます。					
目標年度 平成30 年度						

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	特別事業実施数	事業	目標値 12 達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値 10 83.33	---	---	---	
活動	連絡会議実施回数	回	目標値 2 達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値 2 100				
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

【事業の成果】

事務事業名	企画事務事業		事業コード	02010600101	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	柳原 正樹
事業対象	市民（観光客誘致）				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	有 市町振興プロジェクト				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

千古の家、花菖蒲園と一体的な観光客誘致のため、ほたるの幼虫とカワニナを放流し、ほたるの里となるよう河川環境整備を行うものです。

千古の家周辺河川改修工事
 工事施工延長 L=56.7m
 法面工 A=199㎡
 護岸工 A=37㎡

予算	款	総務費		項	総務管理費		目	企画費		
		平成23年度	平成22年度		平成21年度	平成20年度				
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	7,670	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	1,000	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	8,670	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.22	人	1,495	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.22	人	1,495	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	10,165	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	7,670	千円	千円	千円	千円	千円		
	一般財源	2,495	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	10,165	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
河川改修工事		千円	目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

すぐにできる改善提案	
目標年度 平成23 年度	
取組状況	工事完了しています。
中長期的に取り組むべき改善提案	地元でカワニナおよびホタルの幼虫の放流し、河川環境を維持していくように指導、協力しています。
目標年度 平成23 年度	
取組状況	ほたるの育成についての知識を高めるよう、ほたる博士（丸岡在住）を紹介しています。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	千古の家周辺環境整備事業は完了しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	千古の家周辺環境整備事業は完了しました。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	千古の家周辺環境整備事業は完了しました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	千古の家周辺環境整備事業は完了しました。			
すぐにできる改善提案	丸岡総合支所から丸岡城までの市道のカラー舗装化や公園整備など年再生整備計画事業（都市計画課）			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	まちづくり交付金事業による丸岡城周辺の整備や丸岡総合支所周辺の整備構想が実現できるよう、官民一体となり取組んでいきます。			
目標年度 平成34 年度				

【事業の成果】

事務事業名	防災行政無線事業			事業コード	02070400401
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 俊生
事業対象	市民を対象としています。				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	施設保守点検業務
根拠法令	有	災害対策基本法、地方自治法、電波法			
根拠例規	有	坂井市防災行政無線局管理運用規程			
関連計画	有	坂井市地域防災計画			
事業の概要	災害発生時に、迅速かつ一斉に避難情報等を住民に伝達するため、防災行政無線の維持管理を実施する。				
	事業の目的・事業の概要等	丸岡町防災無線維持管理事業 ○需用費（電気代、修繕料） 812千円 ○役務費（火災保険料） 8千円 ○委託料（保守点検委託料） 718千円 ○使用料及び賃借料（MCA利用料等） 14千円			

すぐに行ける改善提案	担当課職員が誰でも操作できるようにする
目標年度 平成28 年度	
取組状況	継続中です
中長期的に取り組むべき改善提案	設置後、20数年経過しているため、更新時期にかかっています。今後、デジタル化および市全域での運用等を図らなければならない。また、農村地域へはJA花咲ふくいの営農情報等と共有しているため、更新時は検討が必要です。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	継続中です。

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	諸費	目	防災費				
コスト	事業費	報酬	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			717	千円	千円	千円	千円	千円		
			588	千円	千円	千円	千円	千円		
			8	千円	千円	千円	千円	千円		
			16	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.30 人	2,039 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30 人	2,038 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	3,367 千円		千円		千円		千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	3,367 千円		千円		千円		千円			
財源合計	3,367 千円		千円		千円		千円			

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市全域での運用を図らなければなりません。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	防災は、行政の任務であるので、現状どおり維持していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	施設が高経年しているが、できるだけ費用を抑えるよう努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	課職員全員が緊急時に備えて操作できるようにします。			
すぐに行ける改善提案	担当課職員全員が、緊急時に備えて操作できるようにします。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	デジタル化および市全域での運用等を図ります。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

事業の成果	成果	放送回数	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
					目標値	90	達成率	90	達成率		達成率	
	実績値	94	104.44	87	96.67							
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率			
	実績値											
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率			
	実績値											
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率			
	実績値											
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率			
	実績値											

事務事業名	雇用促進住宅駐車場管理事業			事業コード	05020200301
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（雇用促進住宅利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	雇用の創出		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の概要	高齢者、新規学卒者及び勤労者を対象に展開される労働諸事業を支援し、活力ある地域社会づくりを目指すとともに、労働者の社会的地位の向上を図ります。				
	労働者の雇用確保のために設置されている雇用促進住宅の道路の一部の土地を賃借しています。				
事業の目的・事業の概要等	○土地借上料 予算 326千円 雇用促進丸岡宿舎 道路用地借り上げ 丸岡町寅国7-27-1 158.68㎡				
	*雇用促進入居者専用駐車場用地は、利用者がなくなり地権者へ返還 返還日 平成23年6月30日 返還の土地 坂井市丸岡町寅国4-32 426.66㎡				

すぐに行ける改善提案	丸岡宿舎利用者の駐車場用地として借地をしていましたが、宿舎への入居者の減少による利用者が殆どなくなったため、駐車場としての利用を解除し、借地を地権者へ平成23年6月末をもって返還しました。
目標年度 平成34 年度	
取組状況	駐車場用地として利用していた借地を返還しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	雇用促進住宅の今後の動向を見ながら、もう一筆残っている借地（道路敷地として利用中）の検討を行なっていきます。
目標年度 平成34 年度	
取組状況	継続中です。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	労働費	項	労働諸費	目	労働施設費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	119千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	119千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.03人	204千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.03人	204千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		323千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		323千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		323千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成34	年度を目安
判断理由	駐車場については、入居者の減少により利用が少なくなったため、地権者に返還しました。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成34	年度を目安
判断理由	借地として、道路敷地が残っているため、現状どおり継続します。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成34	年度を目安
判断理由	道路敷地だけの経費分を継続します。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成34	年度を目安
判断理由	事務的なことはあまりかからない事業です。			
すぐに行ける改善提案	入居者の減少により、利用がなくなったため、駐車場敷地については地権者に返還しました。			
目標年度 平成34 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	雇用促進住宅の方向性を見ながら、道路敷きとして残っている借地を検討していきます。			
目標年度 平成34 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
借地件数		件	年度	2	達成率	2	達成率	2	達成率	2	達成率
				実績値	1	50	2	100	2	100	2
活動	駐車場管理箇所	箇所	年度	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
				実績値	1	100	1	100	1	100	1
活動	口座振替件数	件	年度	0	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
				実績値	0	---	9	75	12	100	12
			年度	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							
			年度	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							
			年度	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	有害鳥獣捕獲事業			事業コード	06010301501
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（農業者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	有害鳥獣からの農作物等の被害防止
根拠法令	無	鳥獣保護および狩猟に関する法律			
根拠例規	無	福井県有害鳥獣捕獲実施要綱、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

農作物に対する鳥獣被害を防止するため、有害鳥獣の捕獲及び農地への侵入防止に係る事業を実施することにより、農業の振興と農作物の生産の安定を図ります。

- ◆有害鳥獣捕獲事業（旧町ごとに有害鳥獣捕獲隊を編成し、捕獲事業を実施）
 - 【事業主体】 坂井市
 - 【事業の委託先】 財団法人福井県猟友会「丸岡支部」 丸岡地区域対象
 - 【捕獲対象となる鳥獣類】 カラス、熊、猪、ハクビシン等
 - 【予算等】
 - 需用費（消耗品費・修繕料） 85千円
 - ・ 顔代や檻等の修繕
 - 役務費（手数料） 1,453千円
 - ・ 檻の設置や巡回、管理料
 - ・ 有害鳥獣の処分料
 - 委託料 1,210千円
 - ・ 熊や猪の出没時出動手当
 - ・ 止めさし委託料
 - ・ 保険料
 - ・ 猟友会員銃維持費用弁償

すぐにできる改善提案	猟友会丸岡支部に協力を依頼し、大型獣類・中獣類・鳥類の捕獲駆除を実施する事業であります。また、近年は猪の出没が増加傾向にあり、関係集落とともに電気柵の設置や金網柵などを設置し対策を被害防止対策を講じています。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	継続中です。
中長期的に取り組むべき改善提案	地球温暖化等の環境変化により、猪の出没が多くなり継続的な防除対策が必要となっており、猟友会や関係集落とともに対策を継続しています。丸岡地区では平成20年頃にはなかったハクビシンの出没が増えているとともに鹿類やサルなどの出没の報告が多数寄せられており、新たな対策も今後検討していく必要があります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	鳥類や獣類に対するものは保護の観点もあり、関係機関と連携を図りながら継続した事業の推進が必要です。

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所屬長評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	772	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	84	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	1,284	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	2,140	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費		正職員	0.35 人	2,378	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.35 人	2,378	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		4,518	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			4,518	千円	千円	千円	千円			
財源合計		4,518	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	猪などの有害鳥獣の出没が多くなっており、農作物に被害が出ているので、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	農作物の被害を防止するためには、官民一体となり協力しながら実施していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	有害鳥獣の出没は増加傾向にあるため、効果的な対策を立てていく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	県や関係集落、猟友会と連携しながら継続していきます。			
すぐにできる改善提案	被害防止のため、金網柵などの設置の充実を図っていきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現在、猪などの出没が多くなり、継続的な防除対策が必要になっている。また、ハクビシン、鹿、サルなども出始めており、新たな対策も今後検討していく必要があります。関係集落との協力も必要になってきます。			
目標年度 平成34 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
活動	有害鳥獣捕獲頭数(カラス)	羽	目標値 30 達成率	30 達成率	30 達成率	30 達成率
		実績値	22 73.33	30 100	31 103.33	24 80
活動	有害鳥獣捕獲頭数(猪・熊)	頭	目標値 40 達成率	40 達成率	40 達成率	40 達成率
		実績値	19 47.5	49 122.5	45 112.5	41 102.5
活動	有害鳥獣捕獲頭数(ハクビシン等中獣類)	頭	目標値 3 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率
		実績値	8 266.67	2 0	2 0	0 0
活動	有害鳥獣用檻の管理(猪・熊)	基	目標値 25 達成率	28 達成率	8 達成率	8 達成率
		実績値	31 124	28 100	8 100	8 100
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	特産そば振興事業		事業コード	06010305701	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（農業者、消費者）を対象としています。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱				
関連計画	無				

【事業の概要】

地域特産物に位置付けされている「そば」の高品質化、高付加価値化の推進により、消費拡大、知名度の向上を図るとともに、イベント等を通じてそば産地としての競争力の強化を図ります。

坂井市丸岡町で獲れたそば粉を使用し、そば打ち体験やおろしそばを活用したイベントを通じて、県内外に広くアピールし消費拡大を図ります。

【事業実施団体】 丸岡そば振興協議会
（構成…そば愛好会、JA青壮年部、消費者代表、県、市、JAなど）

【主な事業】
 ・「坂井市丸岡町素人そば打ち段位認定会」の開催 6月下旬
 ・「全日本素人そば打ち名人大会坂井市丸岡地区予選会」の開催 6月下旬
 ・「そばの里 丸岡 新そばまつり」の開催 11月第3土曜日
 ・「ふくい新そばまつり」への出店 11月
 ・上記事業実施に伴う打ち合わせ会議の開催 数回

【予 算】
 ○報償費 50千円
 ・段位認定会講師謝礼
 ○需用費 195千円
 ・行事用消耗品、そば加工試作品等材料代
 ・会議用お茶代 ・ポスター等印刷代
 ○使用料及び賃借料 100千円
 ・県新そばまつり食比べコーナー出展料
 ○負担金、圃場金及び交付金 455千円
 ・福井そばルネッサンス推進委員会負担金
 ・新そばまつり事業補助金

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費					
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	154千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	585千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	739千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.53人	3,601千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.53人	3,601千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		総事業費		4,340千円		千円		千円		千円	
		特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
			使用料・手数料		千円		千円		千円		千円
			分担金・負担金		千円		千円		千円		千円
地方債			千円		千円		千円		千円		
その他			千円		千円		千円		千円		
一般財源		4,340千円		千円		千円		千円			
財源合計		4,340千円		千円		千円		千円			

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	回	目標値	4	5	3	4
		実績値	4	5	3	4
活動	杯	目標値	1500	1500	1500	1500
		実績値	960	1354	1216	1429
活動	杯	目標値	300	300	300	300
		実績値	115	229	290	300
活動	人	目標値	17	13	14	22
		実績値	17	13	14	22
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				

すぐにできる改善提案	坂井市で生産される「そば」を特産品として位置づけながら坂井市のPRに努め、そばの生産と消費拡大を図っています。事業費補助の増額が厳しい中で、そばに関係する団体や生産者の協力を得ながら、事業の継続的推進と拡大を図っていきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	段位認定会や新そばまつりでは、市内外はもとより県外からの来客があり、丸岡産そば粉を使ったおろし蕎麦は継続的なPRによって知名度が向上してきております。また、坂井市商工会青年部による羊味そばと一体的に坂井市のそばの振興を進めていきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	そばの産地は、全国にあります。丸岡産そばを特産品として位置づけ、坂井市のPRとそばの消費拡大、農業振興に寄与していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	官民一体となって、そば振興を図っていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	例年、予算的に厳しい現状であるが、継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま継続していきます。			
すぐにできる改善提案	そばに関係する団体や生産者の協力を得ながら、事業のPRに努め、事業の拡大を図っていきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	丸岡産そば粉を使ったそばを食するところが少ないため、利用者のニーズに答えられるよう、今後、そば振興協議会などと協議しながら検討していきます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

事務事業名	排水機場維持管理事業			事業コード	06010500701		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和		
事業対象	市民（農業者）が対象です。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	施設管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	排水機場の適正な維持管理を行うことにより、農地の汎用化と農業の近代化を促進し、併せて地域の排水条件整備を図ります。						
	大雨などによる農地等の冠水を防止するため、排水機場の維持管理を行っています。						
事業の目的・事業の概要等	【所在】 玄女排水機場ポンプ 坂井市丸岡町玄女地係						
	【予算】 ○需用費（光熱水費） 54千円 ・電気料 ○委託料 95千円 ・機械及び電気施設点検委託料						

すぐにできる改善提案	近年は異常ともいえる気象が多発しており、農地を守るための継続した維持管理が必要です。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	近年は異常ともいえる気象が多発しており、農地を守るための継続した維持管理が必要です。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	53 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	53 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.04 人	272 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.04 人	272 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		325 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		325 千円	千円	千円	千円					
財源合計		325 千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	水害から農地を守るために必要な事業なので継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	24年度より農村整備課へ予算が移りました。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	必要な事業なので現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	必要な事業なので現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	日ごろの維持管理に気をつけていきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	最近の気象は大雨になることが多くなってきているので、農地等の冠水を防ぐためポンプの排水用量などの検討を行います。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
箇所数	箇所	箇所	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	1	100	1	---
箇所数	箇所	箇所	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	1	100	1	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	県有土地改良財産管理事業			事業コード	06010501601		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）		電話	68-0801		記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（農業者）を対象とします。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	農業の振興			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	県から管理委託を受けている県有財産を良好に維持管理することにより農業の振興に資することを目的とします。						
	事業の目的・事業の概要等	<p>◆高稼用水ゲートの維持管理</p> <p>【所在】 坂井市丸岡町油為頭地係</p> <p>【予算】 〇需用費（光熱水費） 31千円 ・電気料</p>					

すぐにできる改善提案	農業用水の適正な施設の維持管理で、継続的な事業の実施が必要です。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	農業用水の適正な施設の維持管理で、継続的な事業の実施が必要です。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	30 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	30 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.03 人	204 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.03 人	204 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		234 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		234 千円	千円	千円	千円					
財源合計		234 千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	農業用水の適正な維持管理のため、必要な事業なので、継続していきます。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	農業用水の確保という公共性があるため、現状どおり実施していきます。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	農業用水の適正な維持管理のため必要な事業なので、現状を維持します。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	平成24年度より、農村整備課で効率的な事務処理をしています。					
すぐにできる改善提案	効率的な事務処理をしています。					
目標年度 平成29 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	農業用水の適正な施設の維持管理であるので、継続的に事業を実施していきます。					
目標年度 平成29 年度						

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
管理施設数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率	
		実績値	1	100	1	100	1	100	1	---	
活動	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率	
		実績値	1	100	1	100	1	100	1	---	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	
			実績値	達成率	実績値	達成率	実績値	達成率	実績値	達成率	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	
			実績値	達成率	実績値	達成率	実績値	達成率	実績値	達成率	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	
			実績値	達成率	実績値	達成率	実績値	達成率	実績値	達成率	

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	林業諸事業			事業コード	06020100201
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（林業従事者、林道利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	林道開設負担金
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱				
関連計画	無				

【事業の概要】

市の林業振興を推進するための業務に必要な経常経費及び各種林業関連団体への負担金事業実施により、林業全般にわたって振興を図っています。

林業振興に伴う事務費、関係機関への負担金及び県営事業負担金等を支出します。

【予算】
 ○需用費 200千円
 ・事務用消耗品、書籍購入用消耗品、施設管理用消耗品
 ・燃料費（ガソリン）

○負担金、補助金及び交付金 18,150千円
 ・林業関係各種団体負担金 17,832千円
 うち 劔ヶ岳線開設負担金 15,000千円
 劔ヶ岳線開設負担金（繰越明許費） 2,700千円
 ・森林組合労務退職金共済事業費補助金 318千円

◆主たる負担金
 県営林道開設事業森林基幹道劔ヶ岳線の概要
 坂井市丸岡町山竹田地係からあわらし市牛ノ谷地係へ通じる基幹林道開設事業
 【事業工期】 平成10年度～平成26年度（予定）
 【事業実施主体】 福井県
 【延長計画】 全体L=23,130m 幅員W=5.0m
 （坂井市L=7,940m あわらし市L=15,190m）
 【進捗】 全体L=15,664m（67.7%）
 H23年度末 坂井市 L=5,640m（71.0%）
 あわらし市L=10,024m（66.0%）
 【負担割合】 事業費の1/10

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業総務費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	129千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	13,224千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	13,353千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	人件費		正職員	0.27人	1,835千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.27人	1,835千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		15,188千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円				
地方債			2,700千円	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源			12,488千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		15,188千円	千円	千円	千円	千円	千円				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	伐採届出件数	目標値	24	達成率 40	達成率 42	達成率 31		
		実績値	24	100	40	100	42	100
活動	伐採届出件数	目標値	24	達成率 40	達成率 42	達成率 31		
		実績値	24	100	40	100	42	100
活動	森林整備事業計画数	目標値	1	達成率 1	達成率 1	達成率 1		
		実績値	1	100	1	100	1	100
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値						

すぐに行ける改善提案	各団体の負担金の内容を精査しながら、納入すべきものは納入し、見直しすべきものがあれば見直していきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	負担金の大部分を締める林道開設負担金は平成26年度までが計画期間であります。財政事情により計画の延長が懸念されます。早期完成を目指して関係機関と協力ながら事業の推進を図っていきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	基幹林道の開設や林業振興を推進するために必要な事業であるので、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	基幹林道を開設して途中なので、このまま継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	県が林道を開設し、経費の1/10を市が負担するため、現状のまま継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状のまま継続していきます。			
すぐに行ける改善提案	各団体に対する負担もあるので、負担金の内容を精査し、見直していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	基幹林道開設事業の事業工期は、26年度までとなっているが、財政事情により工期の延長が予想されるため、事業実施主体の県と協力しながら事業を推進していきます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

事務事業名	林道維持管理事業		事業コード	06020200301		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801		記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（林業従事者、森林所有者）が対象です。					
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容		
根拠法令	無					
根拠例規	有 福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱					
関連計画	無 坂井市森林整備計画					

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内の作業を容易にするため、林道の適正な維持管理を行います。

県単林道事業（補助事業）に該当しない軽微な修繕や改良事業により、林道の適正な維持管理を行い、林業従事者などの利用者の交通の利便性の向上と安全対策を図っています。

【林道数】 29路線
【総延長】 52,968m(平成22年度末現在)
【業務内容】 ①林道維持管理
・随時、巡回の実施
・特に大雨や台風、雪解け後の巡回による維持管理
・林道路面の補修工事、落石防止のための法面工事など
②林道等路肩草刈り事業
(H21～23の3ヵ年 緊急雇用創出事業)
・6月から11月末 草刈り作業の実施

【予算】
○賃金 2,349千円
・草刈り業務臨時職員賃金
○需用費 455千円
・事務用品、タイヤ代、作業用具消耗品代
・作業用車燃料代、草刈り機等燃料代
○委託料 94千円
・工事積算システム保守点検委託料
○使用料及び賃借料 505千円
・電算システムリース料
・草刈り機、ヘルメット等リース料
○工事請負費 1,500千円
・土砂崩れ、路面洗掘、落石防除・除去 など

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費					
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	93千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	398千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,870千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,361千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.20人	1,359千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	4.00人	9,172千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	4.20人	10,531千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		総事業費		12,892千円		千円		千円		千円	
		事業費	特定財源	国県支出金	2,613千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	10,279千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	12,892千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
成果	林道草刈り延長	km	目標値	52	達成率	52	達成率	52	達成率	52	達成率
			実績値	52	100	52	100	52	100	52	100
成果	林道維持補修費	千円	目標値		達成率	1002	達成率	2388	達成率	2688	達成率
			実績値			1002	100	2388	100	2688	100
活動	林道維持補修費	千円	目標値		達成率	1002	達成率	2388	達成率	2688	達成率
			実績値			1002	100	2388	100	2688	100
活動	林道草刈り延長	km	目標値	52	達成率	52	達成率	52	達成率	52	達成率
			実績値	52	100	52	100	52	100	52	100
活動	林道補修件数	件	目標値		達成率	12	達成率	17	達成率	3	達成率
			実績値			12	100	17	100	3	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	林道は、林道利用者にとって交通の手段として重要であり、日常的かつ継続的な維持管理が必要です。また林道の維持管理のため、風雨による荒廃箇所の早期復旧工事、定期的な林道巡回、草刈り、落石除去など、継続的な管理を行っています。	
目標年度 平成29 年度		
取組状況	継続中です。ただし、平成21年度から23年度の3年間は緊急雇用創出事業により林道の草刈り等を行っていましたが、制度改正により平成24年度からは事業実施がなくなりました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	林道は、林道利用者にとって交通の手段として重要であり、日常的かつ継続的な維持管理が必要です。また林道の維持管理のため、日常的かつ継続的な管理を行います。	
目標年度 平成29 年度		
取組状況	継続中です。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	林道は、山林で生計を立てている人などにとって交通の手段として重要であり、日常的かつ継続的な維持管理が必要なため継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	公共性があるため、現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	林道は、傷んだ箇所の修繕や草刈、落石除去など維持管理が必要です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	定期的な林道の巡回や、落石除去、草刈などを行います。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	林道の総延長は、29路線、約53Kmにも及ぶため、日常の草刈など、職員減員の現状で維持管理していくことは困難な状況にあるため、臨時職員の配置なども検討していきます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

事務事業名	県単林道事業		事業コード	06020200401	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（林業従事者・林道利用者）を対象とします。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 県農林水産部県産材活用課森づくり課所管補助金等交付要綱（林道事業補助金）				
関連計画	無				
事業の概要	林業従事者や利用者の利便性の向上と安全性の確保を図るため、県補助事業を活用しながら林道改良工事等を行います。				
	<p>◆林道河内～南谷線（6号橋）橋梁補修工事 昭和48年に設置された6号橋は老朽化が著しく、調査の結果危険性が高いので補修工事を行います。</p> <p>【6号橋の概要】 所在 坂井市丸岡町山竹田地係 橋長 L=23.50m 幅 W=4.7m 有効幅員 W=4.0m</p> <p>【事業計画】 H23 鋼材の工場製作 H24 設置工事</p> <p>【補助率】 補助率 県1/2 市1/2</p> <p>【事業費】 ○設計委託料 315千円 ○工事請負費 8,043千円</p> <p>*H22までは、林道河内～南谷線のコンクリート舗装を継続して実施していました。</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	県の1/2の助成事業を積極的に活用して、特に林道橋梁の補修・補強を早急に行い、林業者の安全確保に努めていきます。	
目標年度 平成29年度		
取組状況	継続中です。	
中長期的に取り組むべき改善提案	林道は市道と同様に市に管理責任があります。限られた財源の中で、補助事業を活用し林業従事者や林道利用者の安全確保と利便性の向上を計画的に実施していきます。	
目標年度 平成29年度		
取組状況	継続中です。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	315千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	8,043千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	8,358千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.19人	1,291千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.19人	1,291千円	人	千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	9,649千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		特定財源	4,000千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源	5,649千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	9,649千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	林道利用者の安全確保を図るため、県の補助を受けながら事業を継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	林道は、市が管理する責務があるので、現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	県の1/2補助を受けながら、実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま継続していきます。			
すぐに行ける改善提案	県の1/2の補助事業を積極的に活用し、林道の維持」管理を実施し林業者の安全確保に努めます。			
目標年度 平成29年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	林道河内～南谷線には10箇所の橋梁がありますが、設置されてから年月がたち老朽化し危険性が高いため、順次修繕を図っていきます。			
目標年度 平成29年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	林道改修件数	件	年度	1	達成率	2	達成率	1	達成率	1	達成率
				1	100	2	100	1	100	1	100
活動	林道改修（曾谷～豊原線）	m	年度	0	達成率	200	達成率	0	達成率	0	達成率
				0	---	244	122	0	0	0	0
活動	林道改修（河内～南谷線） コンクリート舗装	m	年度	0	達成率	400	達成率	400	達成率	400	達成率
				0	---	440	110	441	110.25	352	88
活動	林道改修（河内～南谷線） 橋補修	橋	年度	1	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
				1	100	0	---	0	---	0	---
			年度	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							
			年度	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率		
				実績値							

【事業の成果】

事務事業名	森林整備事業		事業コード	06020200501	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民(山林所有者)が対象者です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	森林法第10条の5			
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画	無	坂井市森林整備計画			

【事業の概要】

森林の持つ多様な機能を維持するために、森林の整備を行ないます。森林を良好な状態で維持することで、上流地域から下流地域の市民の居住環境の維持向上が図られています。

【森林整備の概要】
森林の機能を林班毎に区分し、区域に応じた森林整備を行います。
① 伐採・造林・保育その他森林の整備に関する基本的な事項
② 立木竹の伐採に関する事項
③ 造林に関する事項
④ 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐・保育の標準的な方法及び基準
⑤ 要間伐森林の所在並びに実施すべき間伐及び時期に関する事項
⑥ 森林の保健機能の増進に関する事項
⑦ 森林施業の共同化の促進に関する事項
⑧ 林業に従事する者の養成・確保に関する事項
⑨ 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項
⑩ その他

【事業実施主体】
坂井森林組合

【平成23年度事業実績】
① 造林 1.16ha ② 雪起し 32.62ha ③ 下刈 25.63ha
④ 除間伐 - ha ⑤ 枝打ち 23.99ha ⑥ ぬき伐 85.42ha
⑦ 作業路開設 12,321m

【予算】
○補助金 9,005千円
【補助率】
・事業費の3～6%以内
・別途国30%、県20%が実施主体へ直接交付されています。

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費					
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	9,005 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	9,005 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	人件費	正職員	0.15 人	1,019 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15 人	1,019 千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		総事業費	10,024 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源	10,024 千円	千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計	10,024 千円	千円	千円	千円	千円	千円					

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
補助件数		件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐのできる改善提案	森林整備は、現在の地球温暖化への対応を図る上でも現状を維持し、業務を継続して進める必要があります。この事業は坂井森林組合が所有者より依頼のあった森林を整備するもので、市町村森林整備計画に基づき総合的な事業の推進を行なっています。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	継続中です。
中長期的に取り組むべき改善提案	森林整備は、現在の地球温暖化への対応を図る上でも現状を維持し、業務を継続して進める必要があります。国県と一体となり、市町村森林整備計画に基づき総合的な事業の推進を継続的実施を行い森林の保持に努めていく必要があります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	継続中です。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	森林を良好な環境で維持することにより、住民の居住環境を維持する重要な事業なので、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	上流から下流までの市民の居住環境を守るためにも、このまま継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐのできる改善提案	森林整備は、地球温暖化を防ぐためにも現状を維持し、業務を継続する必要があります。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市森林整備計画に基づき、環境に大切な森林の整備を行っていきます。			
目標年度 平成33 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
補助件数	件	目標値	1	達成率	1	達成率
		実績値	1	100	1	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業			事業コード	06020200601		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和		
事業対象	市民（森林所有者）を対象とします。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 県農林水産部県産材活用課森づくり課所管補助金等交付要綱（森林整備地域活動支援交付金）、坂井市産業経済部農林水産部所管補助金等交付要綱						
関連計画	無						
事業の概要	適切な森林整備の推進を通じて森林の多面的機能の発揮を図る観点から、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林の施業が適時適切に行われるよう、その実施に不可欠な地域における活動を確保するために支援措置として交付金を交付します。						
	森林活動支援交付金制度は、森林施業計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、林業者等による森林施業の集約化に必要な「森林経営計画（仮称）作成促進」、「施業集約化の促進」、「作業路網の改良活動」などを支援する事業です。						
事業の目的・事業の概要等	【事業実施者】 （社）福井農林水産支援センター						
	【対象事業】 「作業路網の改良活動」の地域活動事業						
	【事業年度】 平成19年度～平成23年度（5ヵ年継続事業）						
	【補助率】 国費1/2 県費1/4 市費1/4 2,500円 1,250円 1,250円						
【対象面積】 575.68ha							
【予算】 ○補助金 2,879千円							

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,878千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,878千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.10人	680千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.10人	680千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費		3,558千円		千円		千円		千円
		事業費	特定財源	国県支出金	2,159千円	千円	千円	千円	千円	
				使用料・手数料	千円	千円	千円	千円		
				分担金・負担金	千円	千円	千円	千円		
地方債	千円			千円	千円	千円				
その他	千円			千円	千円	千円				
一般財源	1,399千円		千円	千円	千円					
財源合計		3,558千円		千円		千円		千円		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	協定数	目標値	2	達成率 1	達成率 1	達成率 1
		実績値	2	100	1	100
活動	協定数	目標値	2	達成率 1	達成率 1	達成率 1
		実績値	2	100	1	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

すぐに行える改善提案	この事業は、(財)福井農林水産支援センターが事業主体で実施しています。事業実施期間は平成23年度まででありませんが、今後とも実施していきます。なお、24年度以降の事業については、事業内容が一部見直しされ継続を予定しています。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	個人所有者による森林整備が進まない中で、福井県農林水産支援センターなどが実施する森林の地域活動事業を継続的に実施することで、森林の持つ他面的機能や環境保持機能などを活かすために継続した事業を実施する必要があります。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	個人の山林所有者に代わり、福井農林水産支援センターなどが国、県、市の補助を受け事業を実施するので、事業を継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	国、県の補助を受け、森林機能を維持するため、現状のまま継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	国、県の補助を受けるため、現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	補助事業でもあるため、最小の人件費にて実施していきます。			
すぐに行える改善提案	23年度までの5ヵ年計画であったが、24年度からは内容の1部見直しがあり、継続していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	小規模な森林所有者が多いため、個人で伐採、造林、保育などを実施し良質材の生産を目指すことは難しいため、森林整備を図るため施業の集約化を推進する必要があります。			
目標年度 平成33 年度				

事務事業名	里山の森林づくり推進事業			事業コード	06020200701		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和		
事業対象	市民（施設利用者）が対象です。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	市民の憩いの場として里山を整備し、散策しやすい坂道や休憩しやすい広場を設置しました。ちょっと小高い位置にあり周辺の眺望が楽しめます。						
	手入れがされなかった里山を市民の憩いの場として整備し、市は借地として地代を払っています。						
事業の目的・事業の概要等	【借地】 ①市民憩いの里山(味岡山) 契約期間 H16.7.9~H36.3.31 借地 坂井市丸岡町与河56-2 他6筆 面積 2,491㎡ 地権者 4名 ②倉庫敷地賃借料 契約期間 H17.11.1~H47.10.31 借地 坂井市丸岡町与河16-10-1 面積 60㎡(2,361㎡の一部) 地権者 花咲ふくい農業協同組合						
	【予算】 ○使用料及び賃借料 139千円 ・土地借上料						

【事業の概要】

【事業の目的・事業の概要等】

【事業の成果】

すぐにできる改善提案	市民憩いの里山（味岡山）を維持管理する事業であり、全額市の負担ではありますが、今後とも土地賃貸契約に基づき継続する必要がある事業です。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	環境が変化する現代において、隣接して流れる川には蛍が飛び交う自然豊かな地域ですので、市民が一層憩いの場として活用できるよう一体的な周辺整備が必要です。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	特になし		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	138 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	138 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	0.06 人	408 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.06 人	408 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		546 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
			使用料・手数料		千円		千円		千円		千円
			分担金・負担金		千円		千円		千円		千円
			地方債		千円		千円		千円		千円
その他				千円		千円		千円		千円	
一般財源				546 千円		千円		千円		千円	
財源合計				546 千円		千円		千円		千円	

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
借地筆数		筆	目標値	8	達成率	8	達成率	8	達成率	8	達成率
			実績値	8	100	8	100	8	100	8	100
活動		筆	目標値	8	達成率	8	達成率	8	達成率	8	達成率
			実績値	8	100	8	100	8	100	8	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市民の憩いの場としての里山を、今後も維持管理の支援を行っていきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市民が憩いの場として活用できるよう、現状のまま継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	今後も土地賃貸契約のとおり継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま継続していきます。			
すぐにできる改善提案	自然環境保持のため、維持管理を継続していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	自然が失われつつある中、自然環境保持のため周辺の整備も必要です。			
目標年度 平成29 年度				

事務事業名	県単治山事業		事業コード	06020200901	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（山林所有者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	県農林水産部林政課森林整備課所管補助金交付要綱 福井県営治山林道工事施行要領			
関連計画	無				

【事業の概要】

自然災害による土砂崩れが発生し、更なる被害予防のための工事を行います。

自然災害により林地の土砂崩れのあった部分の復旧工事を行ないます。

【工事概要】
・施行箇所 坂井市丸岡町上久米田地係
・施行内容 工事延長 L=14.5m
ふとん籠工 L=79m
植生マット A=81㎡
・補助率 県1/2 市1/2

【予算】
○工事請負費 1,800千円

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費					
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,800千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	1,800千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.10人	680千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.10人	680千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		総事業費	2,480千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	900千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	1,580千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	2,480千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	改修工事件数	目標値	1	達成率 0	達成率 0	達成率 0
		実績値	1	100	0	---
活動	改修工事件数	目標値	1	達成率 0	達成率 0	達成率 0
		実績値	1	100	0	---
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

すぐに行える改善提案	被害の状況により2次災害を防止するために早期改修、回復工事に取り組んでいます。		
目標年度 平成23 年度			
取組状況	風水害の発生時の巡回と地元からの要望書による現況確認に基づき復旧工事頭を実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	林道等の定期的な巡回と早期予防策の実施を継続して図っていきます。		
目標年度 平成23 年度			
取組状況	継続中です。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	自然災害による土砂崩れの発生や災害予防のため、今後も治山事業を継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	県の補助を受けながら実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	県の補助を受けながら実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を継続していきます。			
すぐに行える改善提案	林道の定期的な巡回と早期予防策を実施していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	専門家による災害発生予想地点の調査を行い、それに基づいて災害防止のための事業を実施する必要があります。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

事務事業名	丸岡観光施設維持管理事業		事業コード	07010500202	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（観光客、施設利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光情報の発信		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	丸岡地区観光施設及び丸岡温泉たけくらべ等の維持管理業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

市民及び観光客が安全で快適に利用できるよう、県下最大の観光地である坂井市の観光施設の適切な維持管理を図ります。

◆丸岡地区の観光施設の維持管理事業を行なっています。

【対象施設】

- ・丸岡温泉たけくらべ
- ・山村広場衛生施設（トイレ）
- ・豊原三千坊周辺
- ・たけくらべ広場（一部）と千古の家周辺（花菖蒲園、トイレ）
- ・街中観光トイレ
- ・屋外広告塔（4基）と観光案内板

【予算】

- 需用費 10千円
- ・施設管理用消耗品
- 役務費 35千円
- ・火災保険料
- 丸岡温泉たけくらべ（施設、収用品、車庫）、山村広場トイレ
- 委託料 1,647千円
- ・観光施設の清掃等維持管理
- 使用料及び賃借料 866千円
- ・土地借上料
- 工事請負費 678千円
- ・丸岡温泉たけくらべの屋根瓦修繕工事

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費			
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		委託費	1,647千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		需用費	7千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		役務費	34千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	1,489千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費合計	3,177千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	630千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		一般財源	3,702千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	4,332千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業の成果】

指標名		単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
成果	景勝地の美化管理の数	箇所	目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
			実績値	4	100	4	100	4	100	4	100
活動	清掃箇所	箇所	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
活動	契約数	件	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100	2	100	2	100
活動	草刈り箇所	箇所	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100	2	100	2	100
活動	草取り等回数	回	目標値	3	達成率	3	達成率	3	達成率	3	達成率
			実績値	3	100	3	100	3	100	3	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	丸岡温泉たけくらべについては、公共施設の見直しに伴い、施設の無償譲渡と民営化を進めるべきだと考えますが、大規模な施設設備の改修、修繕が必要となっています。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	丸岡温泉たけくらべの施設は毎年多額な修繕費がかかるようになっており、利用客に迷惑をかけることの内容対策を講じています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	民間委託への行政改革の推進が必要です。丸岡温泉たけくらべについては、公共施設の見直しに伴い施設の無償譲渡と民営化を進めるべきだと考えますが、経営状況が好転しない現況において、主要な施設を改修、修繕を行い、施設のあり方の検討を進めていく必要があります。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	観光客が安全で快適に利用できるよう、事業を継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	丸岡温泉たけくらべについては、民間への移管を検討していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	今後、施設改修を実施した場合は、経費の増加を検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま継続します。			
すぐにできる改善提案	千古の家周辺やまちかど公園等の指定管理者への委託業務内容の見直しが必要だと考えます。			
目標年度 平成29 年度	丸岡温泉たけくらべについては、公共施設の見直しに伴い、施設の無償譲渡と民営化を進めるべきだと考えますが、経営状況が好転しない現況において、主要な施設を改修修繕したうえで、検討を進めていく必要があります。			
中長期的に取り組むべき改善提案	丸岡温泉たけくらべについては、現在、民間業者と賃貸契約を結び、運営を行っていますが、公共施設のあり方による見直しにおいて、施設の無償譲渡を考えています。今後、それに向け、施設の改修が必要と思われます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

事務事業名	指定管理事業			事業コード	07010500301
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 繁和
事業対象	市民（観光客、施設利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	有料駐車場及び付属設備の維持管理
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の概要	丸岡まちかど公園駐車場とお天守前駐車場は、丸岡町内の商店街や日本最古の丸岡城に近い位置に設置されているため、商店街を利用する市民や観光客が快適で安全に利用できるよう駐車場の適正な管理運営を行います。				
	丸岡まちかど公園駐車場とお天守前駐車場の両駐車場は、パーキングメーターによる有料駐車場で、機器の保守管理と付帯施設の維持管理業務を指定管理により委託しています。				
事業の目的・事業の概要等	【指定管理先】 財団法人 坂井市公共施設等管理公社				
	【指定期間】 平成20年4月1日～平成25年3月31日 5年間				
	【施設概要】 ①丸岡まちかど公園駐車場 所在地 坂井市丸岡町富田町1丁目1 766.18㎡ 駐車台数 12台 付属施設 公衆トイレ ②お天守前駐車場 所在地 坂井市丸岡町霞町1丁目31 497.36㎡ 駐車台数 12台 付属施設 お天守前公園				
	【予算】 ○役務費 6千円 ・まちかど公園公衆トイレ火災保険料 ○委託料 1,100千円 ・指定管理委託料				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,100千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	5千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	1,105千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.22人	1,495千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.22人	1,495千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	2,600千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	2,600千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	財源合計	2,600千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業の成果】

指標名		単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
成果	駐車場利用台数	台	目標値	3800	達成率	3800	達成率	3800	達成率	3800	達成率
			実績値	4757	125.18	3794	99.84	4344	114.32	3811	100.29
活動	駐車場利用台数	台	目標値	3800	達成率	3800	達成率	3800	達成率	3800	達成率
			実績値	4757	125.18	3794	99.84	4344	114.32	3811	100.29
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	現在は利用者の便を図るべく保守点検を行ないながら維持管理を行っています。しかし、施設の老朽化に伴い、施設設備の更新または施設のあり方を検討する必要があります。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	現状としては、施設整備後10年が経過し老朽化が進展しています。年に補修を何回か行っており、今後部品の調達なども険しくなるものと思われます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴い、施設設備の更新または施設のあり方を検討する必要があります。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	観光客や市民が利用する観光施設に近い駐車場であるので、指定管理先を坂井市公共施設等管理公社として、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	指定管理制度にて、現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま維持していきます。			
すぐにできる改善提案	施設が老朽化してきましたが、保守点検を行いながら維持管理を行っていきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設整備後10年が経過しているため、老朽化が進んでいるため更新の検討をする必要があります。			
目標年度 平成29 年度				